

## 十二學會聯合 工學會大會の記

初の明治節を以て日本工學會大會が東京帝大記念講堂に開催された、數ヶ月前から工學會幹部諸先輩が非常な御盡力で、日本の十二學會の聯合大會と云ふものが初めて開かれたわけであるから、全国各地から知名の技術家が殆んど參會するの盛會であつた。出席會員 2,793 人の申込を報ぜられた。

明後年日本に於て開催せらるゝ萬國工學大會の小手調べとして申分なき成績を収めたもので、此の工學大會は我々一般技術家の充分に注意すべき事件で今後各方面への影響も甚大であると思へるから、大會の概要を傳ふる事にする。

十一月三日(明治節) 午前十時開會

會場 東京帝國大學大講堂

開會の辭	工學會理事長	工學博士	男爵	古市公威
祝辭		商工大臣		中橋德五郎
祝辭		文部大臣		水野鍊太郎
祝辭		東京帝國大學總長		農學博士 古在由直
祝辭		東京帝國大學工學部長		工學博士 岸本 晴

講演

基本工業概論 (約 1 時間)

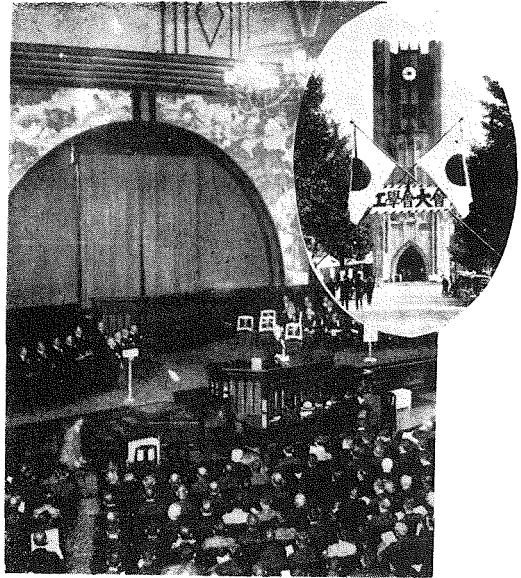
理化學研究所長 工學博士 子爵 大河内正敏

午前十時振鈴と同時に工學會理事長たる古市公威男爵開會の辭を述べ、二千餘の會員大拍手を以て迎へ、次で來賓中から概要次の祝辭演説があつた。

祝 辭

文部大臣 水野鍊太郎

明治節に當り此の大會の開かるゝは感概殊に深し、明治大帝即位後本年にて六十年、明治初年徼々たりし我邦は今や世界の八大産業國の一で有る、此の進展は教育に負ふもの大である、此點は列席の諸君の指導によるものと思はる、科學は必ずしも學校に於てのみ教へるものでなく學會を大に必要とする、學會は一國の文明を進歩せしむる最大必要で有る故に工學會が中心となり各學會が連絡をこるには斯かる大會が必要で有る本日此の大會の



General meeting of the Engineering Association of Japan. They held a big meeting at the Imperial University and it was so prosperous that every noted engineers and scholars in Japan were present there.

開かれたのを喜ぶ。

祝 辭

商工大臣 中橋德五郎

維新以來明治初年の我國工業は歐米の模倣移植で有つたが今や其時代は過ぎた、これ我國工業學術の進歩に歸すべきものと思ふ、學術の進歩は學會に負ふもの大で有る、今回工學會が十二學會聯合して大會を開かれたるは我國産業界に多大の反響を及ぼす事と思ふ、明後年に又東京で萬國工學會が開かるゝ由なるが其際政府も出来る支援助をしたいと思ふ

祝 辭

理事長 男爵 古市公威

近年科學研究益々盛となり益々専門的に深く狭くなり、一方共通點が有るから各學會は互に没交渉ではいけない、相互に援け合はねばならぬ、之此大會を必要とする所以で有る明日から開かるゝ各部會の何れにも出席出来るから専門外の智識を吸収して自己専門の發展に資すべし、本會の開かるゝに當り多數の出席を見たるを喜ぶ、終りに政府が此大會を重要とし商工、文部兩大臣親しく來會祝辭を